

島根半島

小波

アクアブルーと貝砂の浜

小波は多古鼻の入口に位置し、古くから愛されてきた小さな集落です。丸く入り組んだ湾と透き通った海、白砂の浜と赤瓦のまち並みが美しい小波は島根半島の中でも随一の場所と言っても良いでしょう。集落の中を歩くと、細く入り組んだ路地や昔ながらの町の姿を見ることが出来ます。



丸ごと楽しむ場所

点から面の観光へ

ジオパークとは?

「地球・大地(ジオ:Geo)」と「公園(パーク:Park)」とを合わせた言葉です。大地(ジオ)の上に広がる動植物や生態系(エコ)そして、私たち人(ヒト)の生活の3つの要素のつながりを知り、楽しむ公園です。

小波は小さなジオパーク

今から約1400万年前、まだ人間が地球上にいない頃、小波周辺には巨大な海底火山や火山島がありました。火山から溶岩や火山灰が噴出して小波の大地(ジオ)がつくられました。

小波の浜は外海に面し、暖流の影響を受け、海藻の繁茂する複雑な岩礁地に囲まれているので、豊かな生態系(エコ)が育まれています。透明度が高い浅い海と、白い砂浜は、私たち人(ヒト)が利用する憩いと生活の場所です。



このように小波とその周辺は **ジオ** **エコ** **ヒト** の3つの要素のつながりを楽しく知ることができる小さなジオパークです。

小波の位置

交通アクセス

- JR松江駅より国道431号～松江島根線を車で約30分
- <一畑バス> JR松江駅前「19マリンゲート」行き(乗車約40分) マリンゲート下車(終点)→乗換<松江市コミュニティバス>(乗車約25分) 小波バス停下車 徒歩約2分

問い合わせ先

- 小波区・小波観光協会 (周年) 0852-85-3150 (民宿なかよし)
- いこいセンター (海の家) 050-5204-8730 (7～8月)
- キャンプ場予約 080-3883-0151 (4～6月)

いこいセンター

情報提供：島根大学くにびきジオパークプロジェクトセンター(入月俊明教授・林広樹准教授) 助成：平成29年度ジオパーク推進協議会普及啓発事業補助金事業



ナショナルパーク・日本ジオパーク 認定

小波のなりたち

夏のどんな日照りの日にも水が涸れたことが無い亀田の井戸を中心として古くから集落が形成されていたようです。周辺の多古や沖泊からも水を汲みに来たとされ、近傍の横穴墓からは曲玉などが発見されています。奴奈彌神社には大国主命が祀られ、正月には、宮廻しが行われています。境内にはお伊勢さんも祀られ、古くから2月11日には大漁を占う行事が続いています。

海浜清掃

冬から春にかけて沢山流れ着く漂着ゴミは、小波の大きな問題です。地域やボランティアの方々によって美しく保たれています。ごみは、自然界から発生した草木の他、生活や漁業によって排出されたゴミが目立ち、さまざまな国の文字が見られます。皆さんのお手伝いをお待ちしています。

マリレジャー

いこいセンター（海の家）では、キャンプやバーベキューができるように施設を整えています。毎年夏には、海水浴や磯遊びに近県より大勢のお客様で賑わいます。近年、カヌー・サップ・微小貝探しを楽しむ方が増えてきました。アワビ・サザエ・有用な海藻などは、採取しない様にお願いします。

いこいセンター

芝生が全面に敷かれたオートキャンプ場は、テント62張りのスペースを確保しています。7～8月の2ヵ月間は管理者が常駐し、休憩や食事・トイレ・シャワー・炊事棟・グループや団体の休憩室などの施設を提供し楽しく過ごしていただいています。



オートキャンプ場

売店

ぬなみ
奴奈彌神社

いこいセンター

民宿なかよし

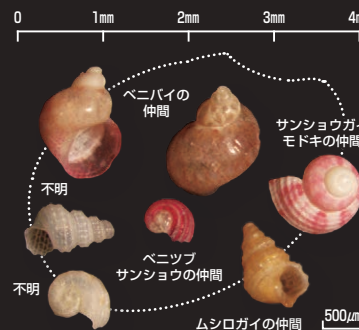
海岸岩

海岸線に見られる岩々は、約1400万年前の海底火山から噴出した溶岩や火山灰が固まってできました。当時の激しい火山活動の様子を今に見ることができます。

海の色

心が洗われるような美しいアクアブルー、川から流入が少ないため澄み切った海水浴場です。植物プランクトンが多くなると緑色にも移り変わり、その美しさに癒されます。

微小貝 ～砂の中の神秘～



小波海岸の美しい白砂は、ほとんどが貝殻の微小なかけらでできています。砂を拡大してみると、可憐に透き通る微小貝がたくさん含まれています。僅か数ミリにも満たない、精緻な自然の芸術品です。(米粒の上に7つが乗る程です)

